

C、L：ローマ数字で100、50を表す

◆巻頭言

年末になり2020年を振り返ってみるといつもの年と違いコロナ、コロナで、新型コロナウイルス感染騒動に明け暮れた1年だったように感じております。

そのコロナウイルスは中国から感染が始まり世界的大流行にまで拡大しました。日本では2月初め横浜港でクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号での感染が発端で、アッという間に全国に広がりました。逸速く3密を避ける、マスク着用、手洗い等の感染対策が周知され、感染者増になると緊急事態宣言が発令されて外出自粛、営業時短等の要請もありました。

当初は短期間で収束できるのではないかと考えていましたが感染上陸以来はや1年になろうとしています。医療従事者の献身的な努力にもかかわらず残念ながら未だに感染が収まりそうにありません。

11月中旬頃からは期待に反し感染者が急増して、一時医療崩壊が心配されるような感染状況になりました。感染拡大の第3波です。これからも医療崩壊というようなことにならないよう感染対策をしっかり実行し何としても感染を早く押さえ込みたいものです。

経済的な打撃も計り知れないものになっており、倒産や失業者も増えております。

1日でも早い収束を願っておりますが現時点ではこれと言った治療薬、ワクチンもありません。まだ開発途上の段階です。

今、世界中がコロナ感染防止に苦戦しています。早急な有効性、安全性のあるワクチンの開発が待たれます。ここに来て世界各国で開発が進み、英国などワクチン接種を始めた国もあります。

当然のことながら誰もが皆コロナに感染したくないと思っています。ワクチンがない現状で感染を防止するにはこれまで言われている感染予防対策に沿った行動をするしか方法がありません。もう一度感染対策を再確認し、しっかり実行しましょう。

ワクチンが接種出来るようになるまでの戦いです。1人ひとりがコロナに対応した生活様式に変えて「自分の身体は自分が守る」という行動が必要かと思えます。

また、対コロナの生活が長くなりますとコロナ疲れもありますから息抜きも必要です。感染防止に努めながら自分なりの楽しみを見出すことだと思えます。

そして、新しい年も元気に笑顔で作業が出来るようにしたいものです。

佐谷 光雄

●令和3年1月・2月の活動予定

※活動可否の連絡に関して：

原則小雨決行です。中止の場合は緊急連絡網（am7時頃）で連絡致します。

1) 1月10日（日）9時半～14時半

- ・集合場所：池の下倉庫
- ・活動内容：安全祈願祭と保全作業
- ・作業内容：年度始めの安全祈願祭（ランドマーク大島桜前で）
：チェーンソーの目立てと整備、：いっしんどう作業エリア景観改善の林床整理、
：1月24日公田竹林での竹細工部材の切り出し数量の打合せ
- ・持ち物：常備具（手ノコ、ナタ、剪定バサミ）、お弁当、飲料水、その他必需品。
【持参器具】チェーンソー、ロープ、救急箱、シート、作業旗、一本バシゴ

2) 1月24日（日）9時半～14時半

- ・集合場所 : 公田竹林西駐車場
- ・活動内容 : 竹林の整備と自然体験教室の準備
- ・作業内容 : 竹林の保全・整理 (密集竹、枯竹、老竹の除伐)、
: 竹細工用部材の切り出しと加工
: 竹材、竹細工部材の搬入 (栄区役所へ)
- ・持ち物 : 常備具 (竹ノコ、手ノコ、剪定バサミ、ナタ)、お弁当、飲料水、他
【持参器具】救急箱、シート、ダンボール

3) 1月30日(土) 9時~12時半

- ・集合場所 公田竹林西駐車場
 - ・活動内容 : 自然体験教室の開催 (準備の為、30分早く集合して下さい)
 - ・持ち物 : 常備具 (竹ノコ、手ノコ、剪定バサミ、ナタ)、ナイフ、手袋、ヘルメット、ペンチ、お弁当、飲料水、他
【持参器具】救急箱
 - ・プログラムは1月24日に相談します (コロナ禍による、不確定な要素がある為)
- ※雨天時 直接区役所新館1階に9時集合

4) 2月14日(日) 9時~14時半

- ・集合場所 : 池の下倉庫
- ・活動内容 : 横浜レンジャーズの受入れ (準備の為、30分早く集合して下さい)
- ・作業場所 : いっしんどう作業エリア (尾根道側)
- ・作業内容 : 林床整理 (倒木の片付け、笹刈り)
: 枯れ木、弱小木の除伐、玉切り、片付け (エコストック作り)
- ・持ち物 : 常備具 (手ノコ、ナタ、剪定バサミ)、弁当、飲料水、その他必需品
【持参器具】作業旗、シート、チェーンソー、救急箱、ロープ

5) 2月28日(日) 9時半~14時半

- ・集合場所 : 池の下倉庫
- ・活動内容 : 移植樹の根鉢作り、大丸広場への移植
- ・作業場所 : 北谷戸・大丸広場
- ・作業内容 : 北谷戸苗畑よりモミジ、コナラの掘採りと大丸広場への移植
: 大丸広場での新年会
- ・持ち物 : 常備具 (手ノコ、ナタ、剪定バサミ)、弁当、飲料水、その他必需品
【持参器具】作業旗、シート、スコップ、鍬、バケツ、支柱、救急箱、
(3年3、4月号の原稿に関し、上記活動報告は野沢氏、巻頭言は高嶋氏、リレートークは丸山氏です。

原稿の締め切りは3年3月1日(月)です。小宅氏迄宜しくお願いします。

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

(1) 令和2年11月8日(日)晴 ボラ塾生受け入れ

参加者 浅見 渡部 枝村 佐谷 三島 高嶋 河野 長谷川 石渡 小宅 竹内 山上 伊藤
計13名、ボラ塾 6名+事務局中塚

ラジオ体操後いっしんどう広場迄登り早速港南台側広場下の作業地に入り、アオキ、シロダモ等の除伐を行う。枯れた杉を1本倒し玉切りにし処理した。

11:45 塾生終了下山 昼食後栄区側下の枯れ木を倒した。コーヒーブレイク後下山



集合、準備運動



杉の倒しに手間取る



アオキ、シロダモの除伐

(2) 令和2年11月22日(日)晴 いっしんどう広場下大木切り倒し

参加者 浅見 三島 渡部 高嶋 枝村 武内 石渡 茂木 河野 山上 押木(知) 小宅 伊藤 竹内 計14名
ラジオ体操後いっしんどう広場迄登り、工具等山上氏軽トラにて運び上げた。

10時から早速チェーンソー使い、眺望を遮る高木等5本を倒すも玉切り出来ず来年度に持ち越し。

昼食を挟み作業を続け、13:20下山。コーヒーを飲みながら打ち合わせ

- ① 3部会合同の除伐(11/28土曜)参加予定者 5名
- ② 12/13 公田竹林作業 昼食持参、1月30日区役所との共催“自然体験教室”用の材料は1/24、瀬上での作業後公田にて切り出す。
- ③ 水辺部会のもち米は参加者で配布済み
- ④ 1/10 新年安全祈願の後本日残った作業続きをする



伐採あと



斜面での作業



女性陣は下草刈りをする

(3) 令和2年12月13日(日) 晴れ時々曇り

参加者 渡邊 三島 山上 佐谷 石渡 枝村 武内 竹内 江里口 河野 高嶋 小嶋 長谷川
小宅 渡部 伊藤 計16名

ラジオ体操から始め、荒れた竹林の手入れを始めた。休憩を挟み、早めの昼食、打ち合わせをしながら、竹林が相当荒れているので1月24日に再度公田での作業を決めた。直接西駐車場集合とする。

横浜レンジャー受け入れ2月28日。



準備運動



竹林





荒れた竹林

◆ リレートーク

「住宅街での気まぐれな里山的生活」 ～休会中の活動報告～ 私の住んでいる磯子区森町の丘陵地屏風浦は住宅街の中にいくつかの屋敷林が奇跡的に残り、かつての里山の雰囲気を見ることが出来ます。

現在の私は「瀬上さとやまの会・樹林地部会」への復帰を目指しながら町内を基盤に自然の生産物(生態系サービス)を利用・活用していくという里山的生活をいろいろ試しています。70歳を過ぎた団塊の世代を主力に「いつでもどこでもだれでも」という気楽さとダメ元の気持ちで実践してきたことをいくつか羅列してみます。

- ①空き地等の邪魔者、ススキ・クズ・アズマネザサなど根・茎・花・葉の全草の利用（ネザサの根・タケノコを試食！クズの花の天ぷらも美味しい！・・・）
- ②雑草・落ち葉・茶殻・コーヒー殻・野菜屑の敷き藁⇒堆肥化、土壌改良
- ③伐採した樹木を葉・小枝・中枝・太枝に分けての再利用（チップ、柵、台、木炭等）
- ④野草等を利用した薬草茶、木の実や葉を利用した薬用酒、ジャムづくり
- ⑤樹木の実生苗づくりによる地域緑化、庭木、垣根、盆栽等の材料提供
- ⑥湧き水を利用した水耕栽培 農薬と化学肥料を一切使用しない畑や花壇
- ⑦野鳥や昆虫を呼び寄せる庭・畑・垣根の工夫 外来種（動植物）調査
- ⑧地域の尾根・谷戸・斜面の生き物観察会の実施、ガイドマップづくり
- ⑨とくに高齢者宅の庭整備
- ⑩ ゴミに出す物品の再利用ネットワーク

など楽しさと健康を第一に思いつき重視！年齢的この先いくらありませんが、地域の自然を生かした「地域ビオトープ・ガーデン化」を夢見ています。環境への負荷を少しでも減らした「循環型社会」の大切さを地域で実践し、講演会でも「ものやお金重視の便利な暮らし」から「自然の営みを利活用していく豊かな暮らし」を伝える努力をしています。

さとやまの会員の皆様も今までいろんなことを実践・経験してきたことと存じます。機会がありましたら「楽しい」「役に立つ」など里山的生活の実践例を教えてください。

星野純明

編集後記

今年は庭の鉢植えのモッコウバラ、ピラカンサ、カポックやデュランタなどが急激に伸長して、見事な花を咲かせ、ピラカンサは真っ赤な実をたくさん実らせています。この春から在宅勤務が始まり、業務の合間の気分転換に庭の手入れを進めていたところ、これらが鉢の底穴から根が抜け出し大地に張り出している状況を見つけました。植物の地植えと鉢植えでその成長に差があるとは認識していたのですが、これほどかと驚き、根の重要性を改めて確認しました。見えない部分（根）の充実が、見える部分（枝、葉、花）の充実や発展に繋がることを改めて知らされ、わが身に例えれば、見えない部分の充実の大切さに思いを馳せています。（押木）